

5か年中期計画 Building Sustainable JUKI

2025/2/13
JUKI株式会社

Building Sustainable JUKI

1. 中期経営計画 見直しの背景と方針

見直しの背景

- **主力事業における環境変化**を踏まえたビジネスモデルの大幅な転換が必要
- **サステナビリティ課題への対応**等、大きく変化する事業環境へ対応するため、**経営基盤の再構築**が必要

見直しの方針

- **JUKIらしさを踏まえた施策の展開**
- 5か年の計画として、最初の3か年(2027年)で**成長分野へのシフト**を進め、新たなビジネスモデルを構築、残りの2か年(2029年)で育てたビジネスモデルを更に深化し、**持続的な成長**を遂げる

事業環境認識

2-1. 事業環境認識と自社課題

サステナビリティの重要性の高まりにより**ESGを中心に据えた経営**が重視されることに加え、**グローバルサウスの成長**や**中国経済の停滞**をはじめとする世界経済の情勢を踏まえたターゲット市場に対する、**JUKIの強みを活かした付加価値の高い製品・サービスの投入**が重要。

	事業環境	自社課題
社会	<ul style="list-style-type: none">サステナビリティに対するニーズの高まり 脱炭素社会/環境負荷低減/人材流動/品質・安全/ 自動化/コーポレートガバナンス	<ul style="list-style-type: none">ESGを中心に据えた経営の推進
政治 経済	<ul style="list-style-type: none">地政学リスクによるサプライチェーンの分断中国経済の鈍化/グローバルサウス拡大の動き	<ul style="list-style-type: none">持続可能なサプライチェーンの実現成長市場に対する経営資源の重点投下
技術	<ul style="list-style-type: none">AI/ロボティクス/IoT等によるパラダイムシフト	<ul style="list-style-type: none">先端技術活用による製品/業務の付加価値向上

2-2. 事業環境変化

自動化/システム化、環境負荷低減への顧客ニーズが拡大。又、競合との価格競争が激化。

	縫製	産機
顧客	<ul style="list-style-type: none">省人化、省力化、自動化、スマートファクトリー化、環境負荷低減(CO2削減)へのニーズグローバルサウスの市場拡大/中国からアジア地域への縫製工場シフト	<ul style="list-style-type: none">半導体関連の製造工程全般の省人化、自動化へのニーズ強みであるMI(異形部品挿入)へのニーズ自動倉庫の市場拡大
競合	<ul style="list-style-type: none">中国等の安価なマシンメーカー台頭	<ul style="list-style-type: none">マウンタは価格競争が激化MI(異形部品挿入)、自動倉庫など周辺機器は、性能・価格共に優位

中期経営計画の骨子

3. 新経営理念

存在理由(raison d'être)

JUKIグループは、
縫製技術で築き上げた実績を礎に、
「衣・社会のサステナブル」を
支える企業で在りつづける

ビジョン

*Innovation for your
Sustainable Future*

スマートファクトリー・自動化技術を核に、
社会と共に持続可能な未来を創る

私たちの価値観

JUKI = 重機

重

- ① なる信頼
- ② みのある責任
- ③ 厚なつながり
- ④ みのあるイノベーション
- ⑤ 圧に負けない力
- ⑥ 厚な生産技術基盤
- ⑦ 視するサステナブル
- ⑧ く響く感動

中期経営計画

Building Sustainable JUKI

4. 中期経営計画のビジョンと基本方針

ビジョン

3年後（2027年）

“JUKIらしさ”を発揮し
存在感ある戦略パートナーへ

成長分野へのシフトにより
新たなビジネスモデルを構築

5年後（2029年）

「衣」と社会の未来を支える
唯一無二のソリューションパートナーへ

3年間で育てたビジネスモデルを更に深化、
持続的な成長を遂げる

基本方針

● 2大事業を軸とした成長

縫製・IoT事業の融合
マウンター本体からマウンター周辺機器への
ビジネスフォーカスシフト

● 財務規律の強化

財務主要項目の改善

● ESG経営の実践

カーボンニュートラル実現の取り組み
人事グランドデザインの実行/ガバナンスの強化/
品質経営の徹底

2大事業を軸とした成長

縫製

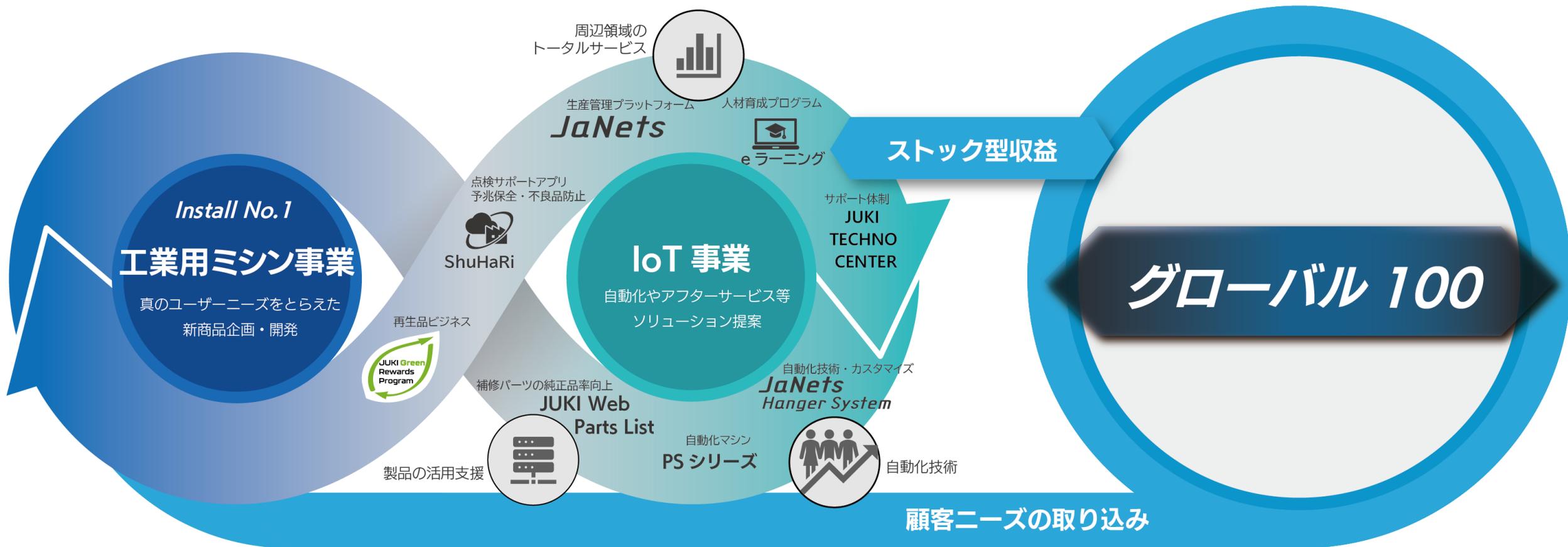
- IoTと融合した「コト売り事業」の強化と拡大による収益基盤の構築
- ハイエンド及び成長企業への提案型ソリューションビジネスの展開

産機

- マウンタ中心のビジネスから、**収益性の高いMI(異形部品挿入)、自動倉庫等の周辺機器分野を拡充**するビジネスへ転換し、**盤石な事業基盤を構築**

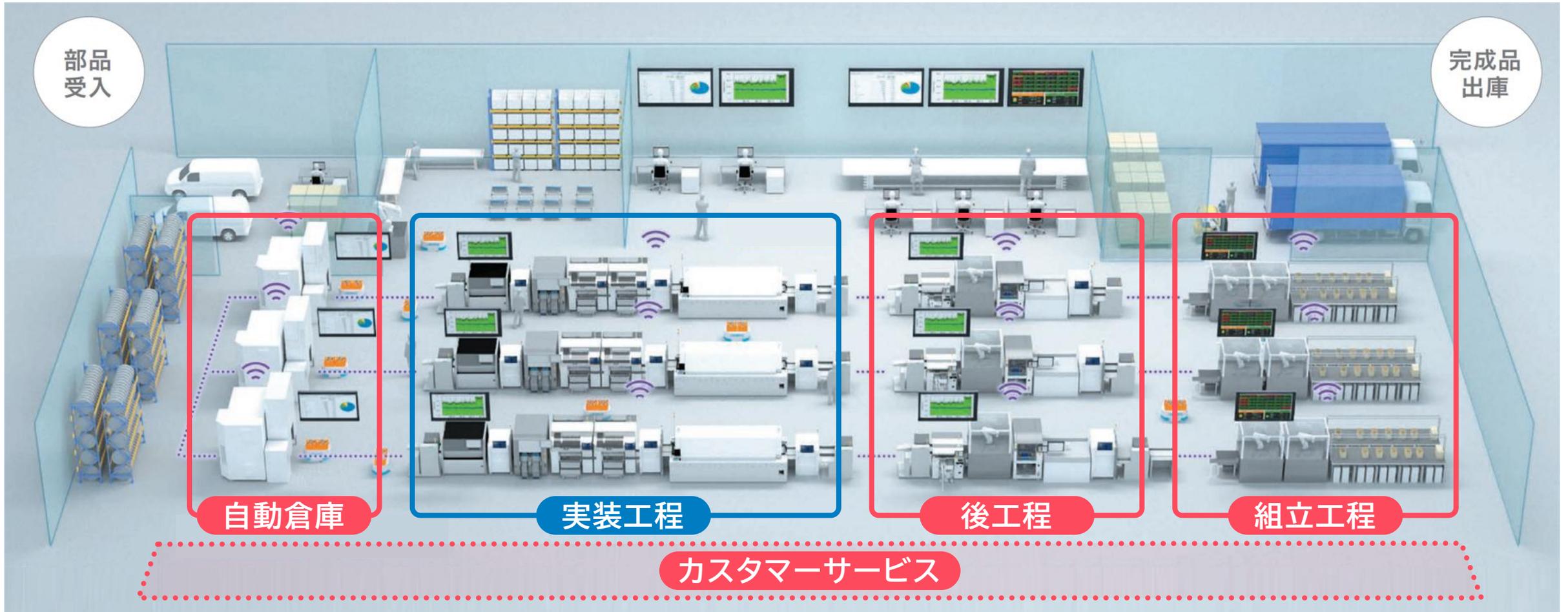
5-2.事業戦略 -縫製事業-

工業用マシン事業/IoT事業を融合させ、優良顧客グローバル100へソリューション提案を強化
→ **縫製工場の生産ラインをトータルサポートできるプラットフォーマーに**



5-3. 事業戦略 - 産機事業 -

マウンター中心のビジネスから、収益性の高いMIや自動倉庫などの周辺機器分野を拡充
→ 半導体産業の一翼を担う電子機器製造工場全体へ、事業領域を拡大



財務規律の強化

6.財務規律の強化

収益基盤の強化と財務健全性の確保を両立させるため、財務規律を強化

重点取り組み

キャッシュフローの改善

- ・在庫削減/売上債権の回収促進

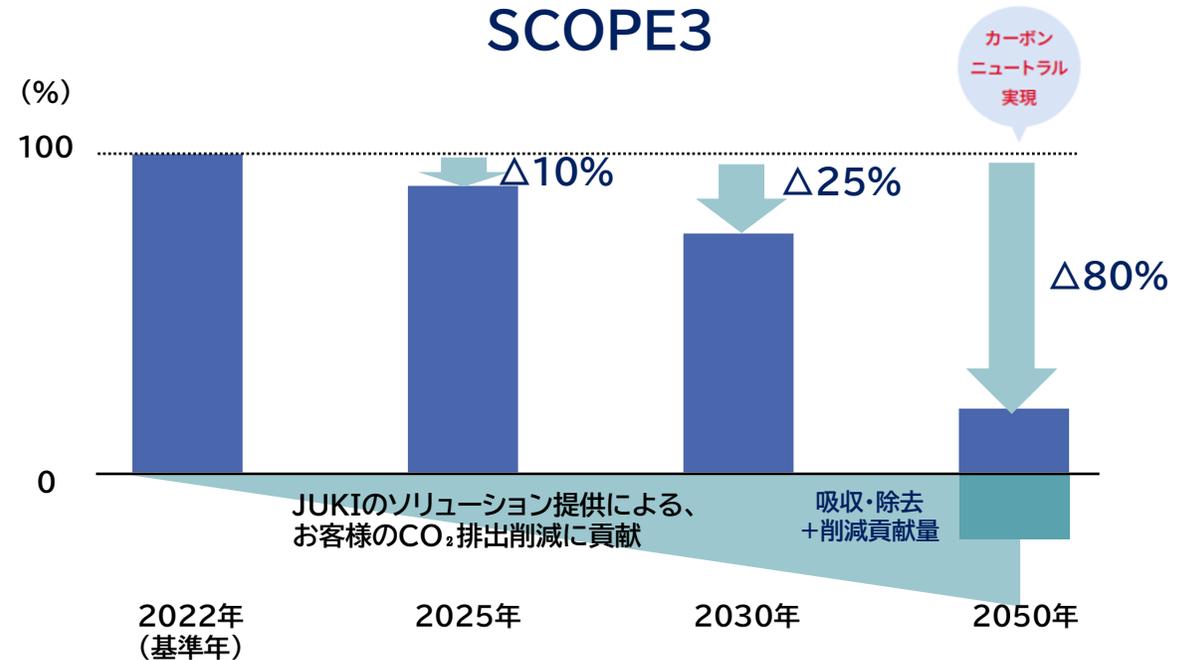
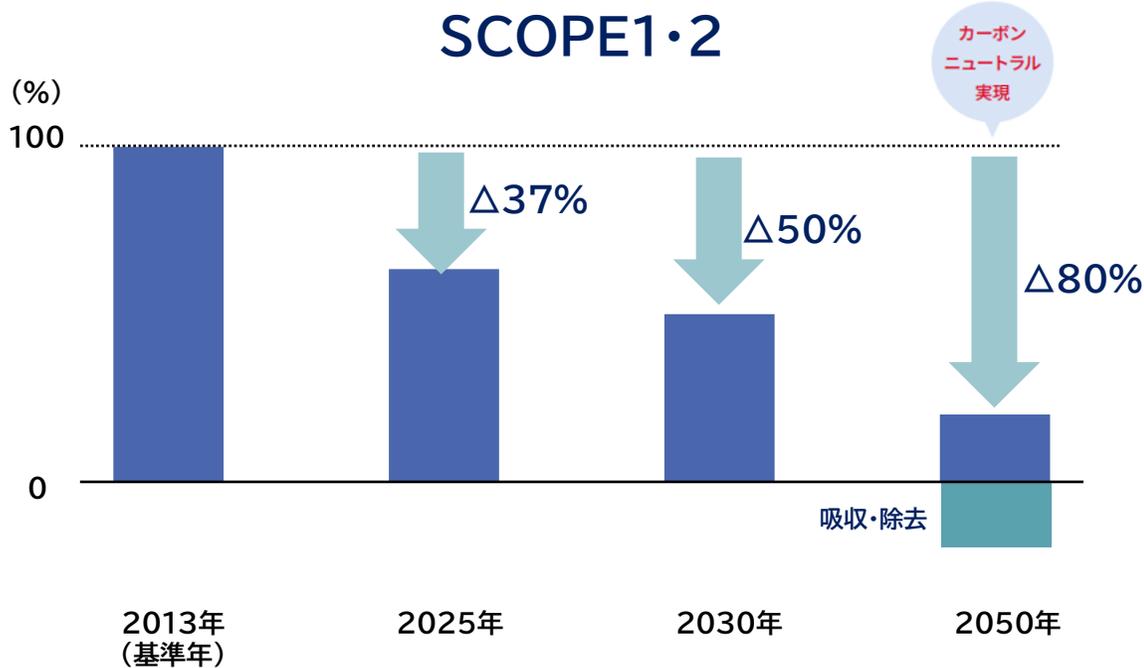
保有資産の適正化

- ・株式/不動産/その他資産の売却

ESG経営の実践

7.カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み

脱炭素社会の実現に向けて、SCOPE1/2/3の削減に取り組む。



削減施策

- ・生産プロセスの省エネ化推進
- ・高効率設備・機器への更新
- ・再生エネルギーへの切替転換
- ・(自助努力で実績が伴わない場合)非化石証書の活用

削減施策

- ・環境負荷の低い製品開発、及びソリューションの展開
- ・再生可能材料の利用比率の増加
- ・製品重量の軽量化
- ・再生ビジネスの推進

8.人事グランドデザインの実行

「社員のハッピー」を根幹に据えた経営を実現するために、幅広い年齢層・組織で構成したメンバーで広く意見を集め人事グランドデザインを策定、詳細を詰めつつ実行



事業環境におけるリスクの最小化、および法規制・社会的要請への適切な対応のため、リスク管理の強化とコンプライアンスの遵守に向けた一層の体制強化を推進

リスク管理の強化

リスクマップの整備と、適切な統制を行える
組織体制の構築

- …第1線でのリスクマネジメント強化(発生防止)と、それを支える第2線の役割明確化、機能強化等
- 第1線(フロント部門)で遵守すべきルール
の明確化と、自己点検できる仕組みの整備
- 第2線(本社管理部門)によるルール策定と
支援、定期モニタリング

コンプライアンスの遵守

社員相談等受付窓口の実効性向上
(情報収集力の維持・向上と対応力強化の両立)

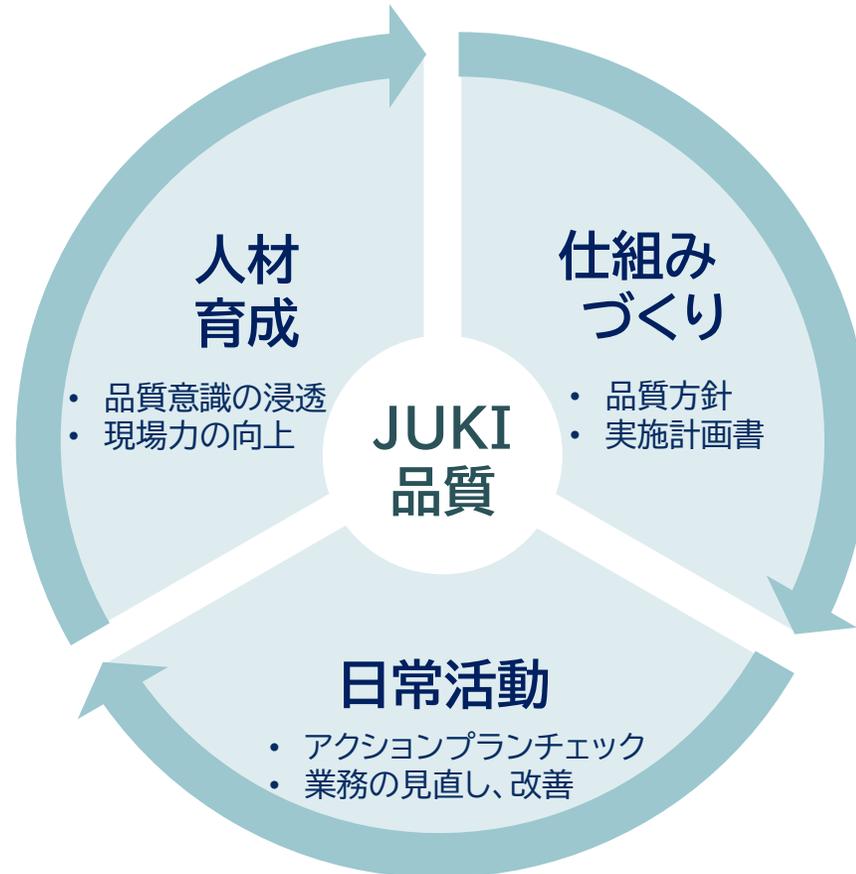
- …窓口一本化も視野
 - 社員相談等窓口の社員への周知
 - 窓口への「相談し易さ」の確保
- 事案の調査、解決を一元的に統括する
「コンプライアンス委員会」の設置
- 法規制および業界基準に対する遵守体制の構築

10.品質経営の徹底

JUKI品質への安心・信頼は「ブランド力」そのものの。

全社を挙げた品質意識の向上のため“品質方針”を策定

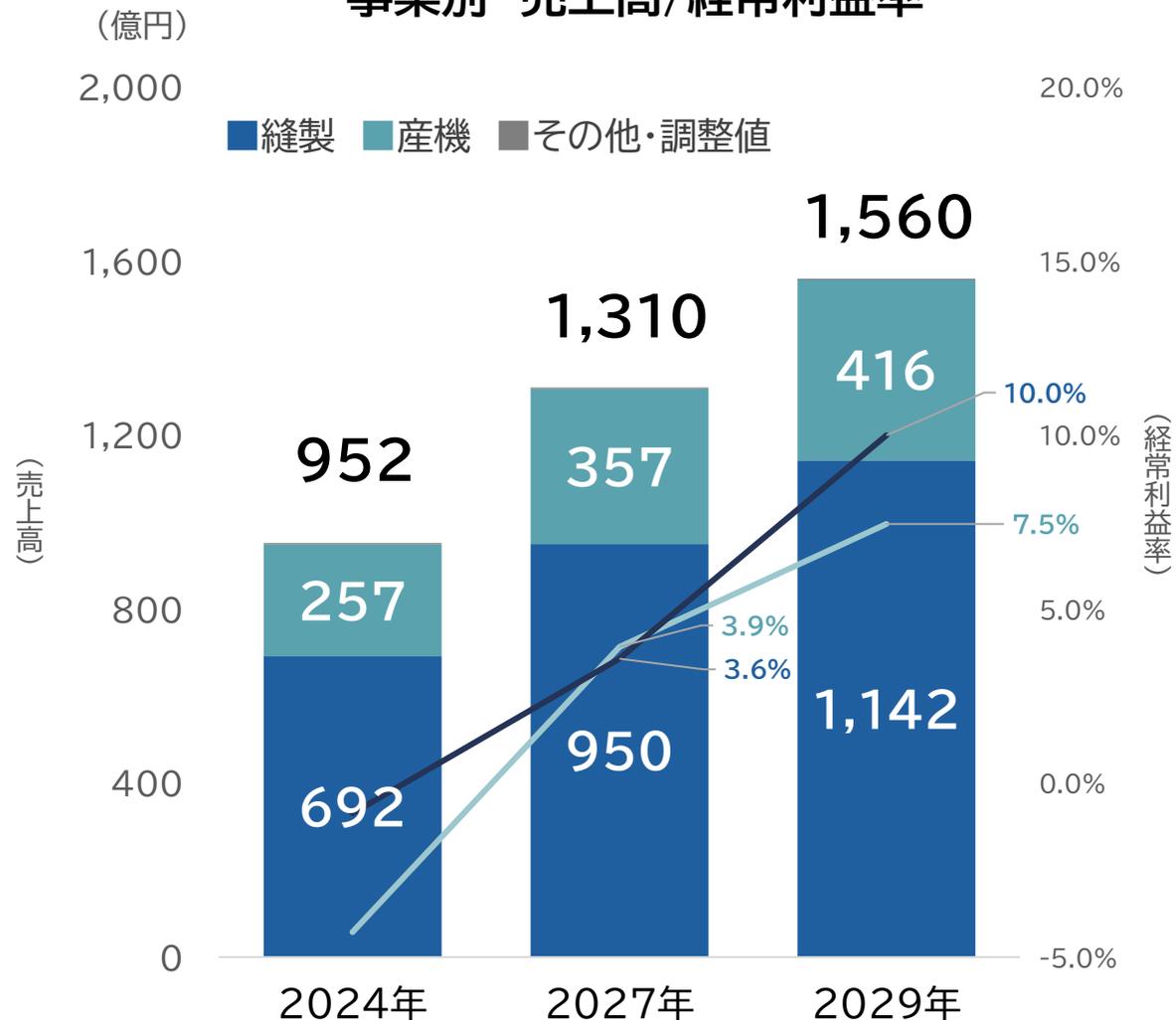
⇒業務品質の向上を通じて、製品・サービス品質の向上に繋げる仕組みを構築



財務目標値

11.目標値

事業別 売上高/経常利益率



主要財務項目	2024年	2027年	2029年
在庫	7.3か月	5.0か月	5.0か月
有利子負債	10.4か月	6.0か月	4.7か月
自己資本比率	21.9%	24%	31%
ROE	△10%	11%	25%

※新セグメント基準 (従来産機に含んでいた自動化部門を2025年より縫製セグメントへ移管)

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

お問い合わせ先: 総合企画部 担当: 鴨居田

TEL: 042-357-2294

ホームページURL: <https://www.juki.co.jp/>

Building Sustainable JUKI